



富山大学にあるスギノマシンラウンジで、2026年7月撮影

トークイベント「TALK with GAKU」

パティシエの辻ロシェフ、GK デザイン機構の田中社長をゲストに熱く議論

日頃より、スギノマシンをご支援いただき、誠にありがとうございます。

豪華ゲストと当社の杉野岳社長がものづくりや挑戦などについて意見を交わすトークイベント「TALK with GAKU」を7月2日、当社がネーミングライツ（施設命名権）を取得している富山大学のスギノマシンラウンジ（学生会館ラウンジ）で開催しました。おかげさまで、会場とオンラインを合わせて約300名の方々にご参加いただき、大盛況のうちに無事終了しました。

ゲストにお招きしたのは、日本を代表するパティシエでモンサンクレール オーナーシェフの辻ロシェフ（石川県七尾市出身）と、日本のデザイン界をけん引する（株）GKデザイン機構の田中一雄社長です。「お菓子づくり×

デザイン×ものづくり トップランナーによる地域創生『融合（フュージョン）』をテーマに、異なる分野で活躍する3人が集い、地域創生、アイデアの源、前に踏み出す原動力などについて熱く語り合いました。

「TALK with GAKU」は、頂を目指す、ものづくり・仕事人によるトークイベントです。

“GAKU”は富山を象徴する立山や劔岳、山頂を表す「岳」、学びの「ガク」、そして当社社長の名「岳」に由来します。

スギノマシンラウンジは、当社と富山大学がネーミングライツ契約を結び、2024年4月からこの愛称で利用されています。（3面に関連記事）

当社公式 SNS に X を新設！

X（旧 Twitter）では、技術情報や加工動画、イベント情報などさまざまな視点で当社の技術・商品を知っていただけるような内容を投稿しています。Instagram と合わせて、ぜひフォローして当社の最新情報をご覧ください。



アカウントはこちら

2026.4-

- 4/1 入社式
主要組織の変更・新体制を始動
(4面に関連記事)
 - 4/21 掛川事業所の新設計事務所の
完成を発表
 - 6/3 テレビ東京「バカリズムのちょっ
とバカリハカってみた!」放映
 - 6/7 展示会「FOOMA JAPAN 2026」
の当社ブースの様子を、TBS
「上田晋也のサンデーQ」が紹介
 - 6/9 独立行政法人日本学生支援機構が
発行する「ソーシャルボンド」に投資
 - 6/30 「カタール富山"夢教室" supported
by スギノマシン」のリニューアル
開催を発表(10月から実施)
 - 7/1 X(旧 Twitter) 公式アカウント
開設をお知らせ
 - 7/2 トークイベント「TALK with GAKU」を開催
 - 7/30 「スパロール SHX/SBX」販売開始を発表
 - 7/30 総合科学誌 Nature オンライン版
に当社の記事広告を掲載
 - 7/31 小学生職場体験イベント「ジョ
ブキッズとやま」を開催
 - 8/3,5,6 創業90周年記念 職場見学&お仕
事体験イベント「スギノ探Q(究)ツアー」
を富山県内2事業所で初開催
 - 8/7 夏休み親子見学会(読売新聞
北陸支社主催)
 - 8/19 「スギノ探Q(究)ツアー」を東京
オフィスで開催
 - 8/21 「中学生プログラミングスクール
TOYAMA」現地見学バスツアー
(富山県主催)
 - 9/8 富山中部高校の探究活動で
杉野岳社長が出前授業
- その他、杉野岳社長の社外での講演、
展示会への出展 多数

このラインは富山県にそびえる立山連峰
をかたどったものです。
3,000m級の山々が連なり、四季折々の
絶景を楽しめる山として地元や観光客
に親しまれています。

PICK UP NEWS

テレビや新聞・雑誌などから当社の技術や 取り組みを多数取材いただきました

テレビ東京のバラエティー番組「バ
カリズムのちょっとバカリハカってみた!」

(6月3日放送)で、当社のウォーター
ジェットカッターが「最強の鉄」との勝負
に挑みました。「最強の鉄」は、金属
の熱処理加工を手掛ける新羽金属工業



(株)様(横浜市)がこの対決のために、技術の粋を集めて加工しました。
ものづくりにかける情熱は両社に共通するものがあり、本企画はウォーター
ジェットカッターの強さや精度を示す貴重な機会にもなりました。

その他、「週刊東洋経済」(5月2日9日合併号)の特集「すごい中堅企
業100」の記事や、ビジネス書「日本を救う最強の中堅企業 次の成長ステー
ジを目指すための教科書」(日経BP、4月27日発行)などで当社が紹介
されました。当社が携わる核融合に関するプロジェクトについても、読売新聞、
北日本新聞、富山新聞で取り上げられました。

ものづくりの世界へようこそ! 夏休みに体験・見学イベント

7/31・8/7・8/21

夏休み中の子どもたちを対象とした職
場体験と工場見学を本社・早月事業所
で下記の通り、開催しました。ウォーター
ジェットカッターを使って段ボールを切断
したり工場用の装置を見学したりして、
ものづくりの現場を体感していただきました。



どのイベントでも子どもたちは「水で何でも切れてすごい」と目を輝かせて
いて、ものづくりの面白さを味わっていただけたようでした。

▽ジョブキッズとやま(7月31日)▽親子見学会(8月7日、読売新聞北陸支社主催)
▽中学生プログラミングスクール TOYAMA 現地見学バスツアー(8月21日、富山県主催)

このうち、ジョブキッズとやまは計2回実施し、それぞれ小学生10名が参加。
金属板をホタルイカ形の記念品に切断加工するおしごと体験に挑戦しました。

中学生プログラミングスクール TOYAMA は、未来のDX人材を育成するた
めの取り組みで、今回は社会にある共通課題を探ることを目的に、約20名が
実際の現場の声を聞くため、当社を初めて訪問しました。当社技術者との懇談
会も実施し、「課題を見つけるために意識していることは?」など、多くの質問
が挙がりました。技術者は「新聞を読んで、幅広く情報を得るようにしている」「実
際に使っているさまざまな人の声を聞き、改善していくことがより良いシステムの
構築につながる」など、中学生の疑問に一つ一つ丁寧に答えていました。

最後に技術者から「不思議に思ったことはどんどん調べてほしい。調べたこ
とで出てきた新しい疑問をさらに新しい学びに広げていってほしい」とメッセージ
を送りました。

お菓子づくり×デザイン×ものづくり 異分野の3人が地域創生やアイデアの源を語る @スギノマシンラウンジ 7/2

富山大学のスギノマシンラウンジで開催したトークイベント「TALK with GAKU」は、異なるフィールドで頂点を目指すトップランナーが、新しい価値やアイデアを生み出す根底や、地域活性化などについて白熱した議論を交わしました。会場には学生や社会人など100名以上の方々にご来場いただき、梅雨の蒸し暑さにも負けない熱気に会場は包まれました。(1面から続く)

■ 富山の地域創生に必要なのは？

辻口シェフは、子どもの頃に古里の田んぼのあぜ道で遊んだ思い出などに触れ、「地域の歴史や文化、それらを次世代に残すためにどうすべきかを考えることが地域を良くする」と語りました。田中社長はデザインや地域愛、その関連性の視点から意見を述べ、杉野社長は2人の話を受け、「何かを新しく富山で始める時に、それを他の場所ではなく富山とする必然性がどこにあるのか、富山の人が突き詰めて考えることが不可欠」と強調しました。



■ アイデアの源

数々のデザインを手掛けてきた田中社長は、「ひらめきは簡単に降ってこない。頭の中に引き出しをたくさん持ち、経験や発想することを繰り返すことで、ようやく新しいアイデアが生まれる」と語りました。辻口シェフは世界を知る重要性を説き、杉野社長も2人に共感「宝くじが当たるようにひらめくことはない。積み重ねが大事」と応じました。

■ 挑戦する人たちにメッセージ

辻口シェフは、ベルーに取得した農園の土からカカオを育てチョコレートをつくるプロジェクトなど、新しい挑戦も紹介。「まずはやってみる。走りながら考えて、修正して、学ぶことが大事」とエールを送りました。田中社長は「自分」を見つけることが一番大事、杉野社長は「失敗してもそれをプラスに変えられれば、無駄な経験にはならない。行動しなければ新しいチャンスはつかめない」と呼び掛けました。

イベントの様子は当社公式 YouTube チャンネルと KNB ポッドキャストステーション「スギラジ@スギラヂ」で公開しています。



YouTube
(フル版)



スギラジ@スギラヂ
(ダイジェスト版)



コラム記事
(当社サイト)

社員家族へ感謝を込めて初開催 職場見学&体験イベント「スギノ探Q(究)ツアー」 8/3・8/5・8/6

今年3月、当社は創業90周年を迎えました。これを記念し、社員の家族を対象にした職場見学&お仕事体験イベント「スギノ探Q(究)ツアー」を8月、富山県内の本社・早月事業所と滑川事業所で初めて開催しました。3回の日程で社員とご家族の計約700名が参加し、普段は見ることができない家族の職場やものづくりの現場を楽しく見学。ロボットや機械の操作、名刺交換などの仕事体験をしました。参加者を迎えた多くの社員も、日頃当社や社員を支えてくださっているご家族に感謝を伝える機会になるよう、心を込めておもてなしをしました。社員やご家族同士の交流を深める場にもなり、子どもたちが仕事体験などを楽しむ様子を、社員や参加者に自然と笑顔が広がりました。

本イベントは、ワークライフバランスの実現や地域との共生を目的とした取り組みの一環でもありました。参加者からは「楽しかった」「もっと見たい」「来てよかった」などの感想が聞かれ、夏休みの思い出の1ページに刻んでいただけたようです。職場見学&体験イベントは、一部の県外オフィスでも実施しました。



COLUMN

新設や改変のあった組織の取り組みを紹介します！

本部・事業部トップインタビュー（上）

- ① 何をしている部署？ ② 今取り組んでいることは？
③ 今後の目標は？ ④ 富山の好きなところは？

当社は4月1日付で主要組織を変更しました。国内外の社会情勢の変化やデジタルトランスフォーメーション(DX)などの要請に対応し、新体制の下、中期経営計画「Vision for 2029」の実現に向けた事業を推進します。

新設した3本部・事業部のトップに、取り組みや意気込みなどを聞きました。

DX本部



松本 英樹 本部長 (勤務地：本社)

社内システムの構築を30年近く担い、全社のIT化やIoTの推進を通じて、業務変革に取り組んできた。

- ① AI活用や業務プロセスの見直しを進め、システム・データ・業務をつなぎながら、データドリブン経営を支える情報基盤を整備するなど、DXによる全社変革を推進する部署です。
- ② 「攻め」と「守り」の両輪でDXを進めています。「守り」では、生産管理システムの刷新を起点に業務全体を見直し、全社のデータを活用できる基盤づくりを進めています。「攻め」ではAIなどを活用した新たな価値創出につなげていきます。社員のAI・DXリテラシー向上にも力を入れています。
- ③ DXで持続的な成長とVision for 2029の達成を加速させます。積極的にチャレンジする頼れるDX推進技術集団にしていきたいです。
- ④ 登山が趣味なので、まずは山です。剣岳のような本格的な山から気軽にハイキングできる低山まで、それぞれに個性があるところが好きです。

開発本部



原島 謙一 本部長 (勤務地：早月事業所)

微粒化技術の研究開発に20年近く携わり、新市場の技術をけん引してきた。

- ① 独自性の高い新技術の企画や開発のほか、各事業部と連携し、これまでの技術をさらにブラッシュアップした新商品の開発プロジェクトに取り組んでいます。
- ② 具体的な案件として、表面処理技術「CWJP(シー・ダブリュー・ジェイ・ピー)」「CASF(キャスフ)」の現象解明と市場展開、特殊液体輸送ポンプの開発、超極細繊維素材「BiNFi-s(ビンフィス)」の新用途開拓、当社らしいニッチ領域のロボット開発などを進めています。これまでとは異なる全く新しい技術の開発にも挑戦しています。
- ③ 当社が誇る6つの「超技術」に新たに加えられるような「7つ目」のコア技術を生み出したいです。新商品を社会にも売り上げにも貢献できる技術として完成させることを目指します。
- ④ 空気がおいしいところです。富山湾の海越しに見える立山連峰の景色がお気に入りです。

海外事業部



吉住 聡 事業部長 (写真左／勤務地：東京オフィス)

中国・ドイツで約20年の海外勤務。現地法人社長を務めるなど、グローバルな経験と実績を持つ。

- ① 海外事業の強化に向け、従来は、複数の組織にまたがっていた海外事業を一本化し、新設されました。北米やアジア、欧州の9カ国にある海外拠点を束ね、海外での販売やアフターサービスなどを展開。海外戦略の立案や実施、より効率的な販売体制の構築などにも取り組んでいます。
- ② 発足後、海外の各拠点の業績などの現状や課題の把握からスタート。情報集約の仕組みづくり、今後の販売戦略、海外で活躍する人材の育成策などの検討を進めています。
- ③ 幅広く世界を捉え、販売する商品の裾野をさらに広げることです。当社にとって新しい分野や国・地域にもアプローチし、当社の商品を世界中に届けたいです。
- ④ 東京では珍しい種類豊富な白身魚や、ホタルイカなどの海鮮、おいしい日本酒が味わえるところです。

編集後記

ニュースレター No.3 をご覧いただき、ありがとうございます。2026 年度上半期は、「TALK with GAKU」や夏休みの体験イベントなどを通じて、多くの方々と触れ合い、当社に関心をお寄せいただけたことをうれしく思います。次号では、改変のあった組織の紹介の後編として、当社のものづくりの技術を担う3事業部の紹介をお届けします。お楽しみに！



記載内容は2026年9月末現在のものです。
無断コピー・転載を禁止します。
敬称略

スギノマシン NEWS LETTER (No.3)

2026年10月1日発行

発行：株式会社スギノマシン 営業企画部
〒936-8577 富山県滑川市栗山 2880 番地
TEL：076-477-2556
Email：kikaku-t@sugino.com

Website & SNS

当社のホームページ、
公式 SNS (YouTube、
Instagram、X) は
こちらからご覧ください。

